

令和２年度 石川県理科教育研究大会 能美・川北大会について

石川県理科教育研究協議会
会 長 松 原 仁

令和２年１０月１６日（金）に開催を予定しておりました石川県理科教育研究大会 能美・川北大会について、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる下記の観点から、以下のようにして、実施したいと考えたいと思います。

- １．例年、およそ２～３００名の会員の参加と小・中・高の授業実践を行うことは、あまりにも感染リスクが高く、通常の大会運営ではかなり無理が伴うと予想されること。
- ２．感染者が出ていない地域から、石川県中央部の感染が発生した地域への参加依頼は、非常に難しいこと。
- ３．臨時休業期間の学習の遅れを取り戻さなければいけない中で、作成した指導案通りの授業を行うことは、児童生徒の思考の流れを阻害する恐れがあること。
- ４．特に、大学受験や高校入試を控えた高３・中３については、授業を進めることが最優先されること。
- ５．石川県小中学校研究会（学教研）によって、大会開催地域が調整されているため、基本的には各教科研究会の意向を尊重するが、調整された地域開催が望ましい、と連絡を受けていること。

以上の観点から、令和２年度実施予定の能美・川北大会については、下記のように実施したいと考えております。

- １．能美・川北大会については、指導案等を要項として作成することで、大会実施に代える。
- ２．分科会提案者については、これまでの研究の成果の発表であることを考えて、令和３年度の大会において発表をしていただく。
- ３．令和３年度の大会については、石川県小中学校研究会（学教研）の大会調整に則り、金沢大会とする。